

平成 22 年度 九州大学大学院経済学府修士課程 2 次募集入学試験問題（一般選抜）

ミクロ経済学

次の 2 問の中から 1 問を選択し解答しなさい。

問 1 労働 L と資本 K を生産要素とする生産関数 $Y = F(L, K)$ を考える。なお、労働と資本の価格をそれぞれ w, r として、以下では、 $Y = \bar{Y}$ を産出するための費用最小化問題を想定する。

(1) 次の二つの生産関数

$$(A) F(L, K) = 2L + K, \quad (B) F(L, K) = \min(L/2, K)$$

に関して、それぞれ等量曲線を図示しなさい。

(2) $\bar{Y} = 100, r = 20$ として、(1) の二つの生産関数について、それぞれ条件付労働需要曲線 ($L^D(w)$) を図示しなさい。(横軸に労働需要量、縦軸に w をとる.)

(3) 技術的限界代替率と条件付労働需要関数の賃金弾力性の関係について述べなさい。

問 2 厚生経済学の基本定理について論じなさい。